

令和5年度（第2期）

事業報告書

令和5年4月 1日から

令和6年3月31日まで

一般財団法人みらい創造財団朝日のあたる家

1 法人の概況

(1) 設立年月日 令和4年11月18日

(2) 定款に定める目的

当法人は、全国的に地域の過疎化、少子高齢化が進むなか、東日本大震災を経験し弊害が顕著に表れている岩手県内において、住み慣れた地域で、人々が支えあい、生きがいをもって暮らせる社会参加拠点や地域モデルをつくり、他分野をつなぎ、多世代が参加できる地域社会の活性化を実現し、もって幸福度の高い高齢化社会の実現に寄与することを目的とするとともに、その目的に資するため、次の事業を行う。

(3) 定款に定める事業内容

- ① 地域生活支援のための訪問・相談事業
- ② 地域生活支援に携わる者の育成のための、講座・セミナーの開催
- ③ 就労の機会の創出及び相談事業
- ④ 就労の機会の創出のための応募型助成事業
- ⑤ 地域交流事業
- ⑥ 地域移動支援事業
- ⑦ 会館運営、施設の貸与
- ⑧ 地域連携事業
- ⑨ 児童、学生、及び若年層の職業体験事業
- ⑩ 児童福祉に関する事業
- ⑪ 住民の生活、まちづくりに関する調査事業
- ⑫ SDGsの連携推進に関する事業
- ⑬ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(4) 主たる事務所 岩手県陸前高田市米崎町字松峰48番地1

(5) 役員に関する事項

石神和美評議員の辞任に伴い、令和5年度第1回評議員会（令和5年6月21日）にて、評議員選任案が承認可決され、青山優氏が就任した。

令和5年7月4日、石神和美氏の辞任、青山優氏の就任登記。

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
代表理事	新田 國夫	非常勤	(医)つくし会理事長
理事	武田 俊彦	非常勤	一般) 日本在宅ケアアライアンス
理事	野崎 貴士	非常勤	社福) 朝日新聞厚生文化事業団
理事	三浦 まり江	非常勤	特非) 陸前高田まちづくり協働センター
理事	白井 薫子	常勤	一財) みらい創造財団朝日のあたる家

評議員	長澤 茂	非常勤	(医)三秋会 一関中央クリニック
評議員	志藤 洋子	非常勤	一般) 日本在宅ケアアライアンス
評議員	青山 優	非常勤	(株) 朝日新聞社
評議員	五味 壮平	非常勤	岩手大学人文社会科学部人間文化過程教授
評議員	是永 一好	非常勤	社福) 朝日新聞厚生文化事業団
評議員	宮前 賢	非常勤	社福) 朝日新聞厚生文化事業団
監事	板倉 幸子	非常勤	一般) 公益アシスト 東京地方税理士会

2 事業の実施状況

今年度は休眠預金活用事業「過疎地域における若手就農者チームによる農福連携基盤構築事業」の採択を受け、令和7年度の農業特化型就労継続支援施設設立を目指しての実証年として、農福連携を本格的に開始した。陸前高田市の農福連携実績は0件から15件まで伸び、農福連携初年度にして岩手県内で首位タイとなった。また、農業以外でも、大船渡市の椿茶製造会社との椿葉一次加工地域連携支援、陸前高田市内のオートキャンプ場における環境整備・施設清掃ニーズと就労支援事業所の草刈り、清掃ノウハウをつなげた連携支援、奥州市の縫製業者におけるリサイクル羽毛の作業工程の分解でつなげた福祉連携支援など、産業の活性化と仕事を通じての多世代の社会参加を支援。農福連携も含めた産福連携として、67件のコーディネート、仲介実績額は4,992,170円となった。

また、「朝日のあたる家」を拠点としたコミュニティ活動、月間通信おはやがんす〜の配布訪問も継続し、孤立防止、保有能力の活用に関差した活動によって地域住民に新たなつながりを生み出すなど、多世代の交流活動を推進した。

令和9年度に財務の面で自走できていることを目指し、ファンドレイジング専門家支援や、復興庁地域づくりハンズオン支援を受けながら、陸前高田市との締結に向けた体制や関係性づくり、寄附募集の開始にあたっての管理フローの構築など、事業のさらなる発展を見据えた基盤づくりも行った。

<地域生活支援のための訪問・相談事業>

月刊通信「おはやがんす〜」を配布しながらの戸別訪問を継続して実施。特に独居や日中独居の方の孤立を防ぎ、地域につなげることを目的として活動した。陸前高田市地域包括支援センターへの情報の提供により、早期の状況把握の一端を担えた。

<地域生活支援に携わる者の育成のための、講座・セミナーの開催>

- ① 市内の子育て支援団体との協働により、子育て中の方や地域の関心のある方を対象に「子どもの発達を高める栄養について」のセミナーを実施。5名の参加のもと鈴木事務次長が講師を務めた。

- ② 陸前高田市、大船渡市、住田町の介護支援専門員を対象とする研修会において「朝日のあたる家が取り組む新しい農福連携」について鈴木事務局次長が講師を務めた。

<就労の機会の創出及び相談事業>

① 農福連携

小規模農家が主であり、生産量をあげたいが労働力を確保できない、担い手が減少し高齢化による負担が増加しているといった農業側の課題と、仕事を求めている、受託作業が欲しい、農業における就労体験や機会の需要はあるが十分に提供できていない福祉側の課題に対して、連携で解決を図っていくという背景がある中、休眠預金活用事業への応募をきっかけに陸前高田市の若手農家に呼びかけ農福連携への賛同をいただいた8農家で農福連携コンソーシアム(タカタアグリコンソーシアム)を結成。採択を受け、令和9年度を目途にコンソーシアムや地域産業に対する一次産業特化型の就労支援事業所の創設を目指し、年間を通じた農福連携の実施と検証を開始した。

	農家	連携先	品目	作業内容	社会参加	福祉受託費
1	ドメーヌミカヅキ	青松館	りんご	剪定枝拾い	10	100,000
2		青松館	ぶどう	植樹		
3		@かたつむり	りんご	摘果、草刈り	14	78,750
4	イドバダアップル	青松館	りんご	剪定枝拾い	4	9,500
5		@かたつむり	りんご	摘果、草刈り	4	10,000
6		大船渡市社会福祉協議会	りんご	葉摘、玉回し	4	15,750
7	ひころいちファーム	あすなろホーム	米菓	粉挽、製造補助	2	348,050
8		青松館	オクラ	収穫作業	29	121,000
9		作業所きらり	オクラ	収穫作業	4	12,000
10	Hs ファーム	青松館	いちご	花殻摘み	13	52,000
11	ファーム小金山	作業所きらり	ピーマン・生姜	収穫、選別	13	297,650
12		@かたつむり	とうもろこし	缶詰加工	2	20,400
13	北限のゆず	あすなろホーム	ゆず	搾汁作業	4	949,058
14		作業所きらり	ゆず	選別作業	9	177,024
15	仙果園	大船渡市社会福祉協議会	りんご	葉摘、玉回し、収穫	11	145,125
計	7農家	15件			124名	2,336,370

② 椿茶一次加工連携（地域連携）

昨年度末から開始した椿茶製造会社との連携で、当財団は椿の枝を採取し希望者へ提供し、一次加工した葉を1週間ごとに取りまとめて製造会社へ納品する中間支援も実施。椿葉の一次加工（汚れふき取り等）について朝日のあたる家を利用している高齢者等への紹介を継続している。また、就労継続支援施設、高齢者デイサービスセンターや精神障がい者デイケア施設、さらに、大船渡市社会福祉協議会や陸前高田市の就労支援センターが相談を受けている生活困窮者、就労準備訓練の方々といった多くの世代や困難を抱える方々が椿茶の一次加工に携わり、地域産業の担い手、支え手として活躍できることへの生きがい、やりがい、収入につながる支援を実施。

③ 縫製連携

奥州市の縫製会社が手掛ける再生羽毛業務のうち、回収した羽毛布団から羽毛を取り出す作業を近隣地域の就労継続支援事業所（A型・B型）へ連携コーディネート。りんご生産を主とするA型事業所においては、作業がなくなる農閑期の仕事ができることで利用者への賃金が確保され、近年受注作業が減少して困っていたB型事業所においては、施設外就労の場ができたことで、工賃の確保はもとより利用者に張り合いも生まれ地域への社会参加も果たすことができた。

④ レジャー産業施設連携

東日本大震災以降、施設利用を休止してきた岩手県立陸前高田オートキャンプ場が㈱スノーピークを指定管理者としてリニューアルオープン。それに伴い、フィールド内の草刈り等環境整備、ケビン・グランピング施設・サニタリー棟の清掃、リネン交換等の作業を福祉との連携でコーディネート。現地視察、作業工程、体制構築など細かな支援でバックアップした。

また、オープン記念イベントでは、地域の方々と協働で“ひつつみ汁のおふるまい”を実施し高齢者の社会参加も作ることができた。

コーディネート件数		社会参加	福祉受託額
農福連携	15件	124名	¥2,336,370
椿茶連携	5件（事業所）	45名	¥302,296
	39件（個人内職）	39名	¥770,420
縫製連携	4件	16名	¥686,000
レジャー施設連携	4件	26名	¥897,147
合計	67件	250名	¥4,992,170

<地域交流事業>

① いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操

高知市が平成 14 年に筋力向上を目指して開発したいきいき百歳体操と平成 17 年に口腔機能向上を目指して開発したかみかみ百歳体操を、毎週月曜と金曜日に実施している。60 歳代～80 歳代が参加し、体操の後はお茶を飲みながらの語らいの場にもなっている。令和 5 年度は 93 回開催。参加人数は 498 名。

② 手芸の輪

震災後、避難所や仮設住宅で暮らす女性たちに、手芸を通じた心身のケアやコミュニティ再生への支援が多くあったことから、新しい仲間づくりの一環として開催している。講師などは置かず、それぞれの作りたいものを自分のペースで作り上げていく時間が持っており、少しずつではあるが新メンバーも加入しながら継続している。令和 5 年度は 50 回開催。参加人数は 307 名。

③ 囲碁サロン

40 代～90 代が参加している。交流の場に出ることが少ない男性の居場所づくりとなっており、移動の面での互助も見られた。令和 5 年度は 50 回開催。参加人数は 321 名。

④ みんなでごはん

保有能力の活用、孤食の防止、心身の安定、脳の活性化を目的としており、ひとりひとりが自主性や特性に応じて役割を担いながら、毎回賑やかな時間をつくることできた。令和 5 年度は 9 回開催。参加人数は 215 名。

	いきいき百歳体操 かみかみ百歳体操		手芸の輪		囲碁サロン		みんなでごはん	
	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
4 月	36	8	20	4	27	4	なし	
5 月	36	8	26	5	26	4	中止	
6 月	47	7	22	4	27	4	20	1
7 月	41	7	32	5	23	4	17	1
8 月	26	6	16	3	37	5	なし	
9 月	44	9	20	4	19	4	20	1
10 月	48	9	33	5	29	4	24	1
11 月	42	8	25	4	31	5	25	1
12 月	39	8	29	4	23	4	29	1
1 月	35	7	25	4	30	4	20	1

2月	54	7	27	4	24	4	30	1
3月	50	9	32	4	25	4	30	1
合計	498人	93回	307人	50回	321人	50回	215人	9回

<会館運営、施設の貸与>

(会館運営)

朝日のあたる家 開館日：月・火・水・金・土

開館時間：9:00～17:00

休館日：木・日 (GW、夏季、年末年始などは計画に応じて)

開館時間内はどなたでも立ち寄れる場所として開放。(貸し切りなし)

令和5年度 プログラム参加者 1,500名

イベント参加者 331名

その他来館者数 2025名

来館者合計 3,856名

(施設の貸与)

コンサートや講演会などの地域住民に開かれたイベントや地域交流のためのサークル活動に対して無償で場所を提供している。イベントに関しては、参加費や入場料は無料であることを基本とする(材料費は良しとする)。

令和5年度 不定期イベント数 19回・参加者数 291名

定期イベント数 12回・参加者数 40名

イベント参加者合計 331名

日にち	イベント名	参加者数
5/30	プロジェクトさとわ はりきゅう治療体験	5
6/24	ほっとカフェ	15
6/27	プロジェクトさとわ はりきゅう治療体験	6
7/2	引継ぎ式典	43
10/1	アンサンブルふあさふあすコンサート	21
10/13	プロジェクトさとわ はりきゅう治療体験	3
10/14	プロジェクトさとわ はりきゅう治療体験	7
11/3	「細海かずのこ」占いの部屋	3
11/4	佐藤ピアノ教室発表会	37
12/9	ほっとカフェ	35
12/10	ポップーキッズコンサート	13
1/13	「細海かずのこ」占いの部屋	2
2/10	ほっとカフェ	37

2/13	親子ヨガ	6
3/ 8	体力測定	6
3/ 8	消防訓練（火災避難）	6
3/18	消防訓練（火災避難・通報）	8
3/19	大人こそ！知っておきたい女性のカラダ（助産師講話）	8
計		19件 291人

<地域連携事業>

① 椿茶一次加工連携（産福連携）

昨年度末から開始した椿茶製造会社との連携で、当財団は椿の枝を採取し希望者へ提供し、一次加工した葉を1週間ごとに取りまとめて製造会社へ納品する中間支援も実施。椿葉の一次加工（汚れふき取り等）について朝日のあたる家を利用している高齢者等への紹介を継続している。また、就労継続支援施設、高齢者デイサービスセンターや精神障がい者デイケア施設、さらに、大船渡市社会福祉協議会や陸前高田市の就労支援センターが相談を受けている生活困窮者、就労準備訓練の方々といった多くの世代や困難を抱える方々が椿茶の一次加工に携わり、地域産業の担い手、支え手として活躍できることへの生きがい、やりがい、収入につながる支援を実施。

② 陸前高田市通所型サービス B 事業

要支援者及び介護予防・日常生活支援サービス事業対象者の。心身の健康維持及び要介護状態等の予防に資するため、住民主体のボランティア等により提供される運動やリクリエーションを行う事業で、平成 29 年より福祉フォーラム・東北が開始。運営に要する費用については陸前高田市から補助金が交付される（6,600 円/回）。

朝日のあたる家では、毎週月曜日と金曜日の百歳体操に合わせてスケジュールを組み、地域の方々との交流が毎回持てるようにしている。（スタッフとの昼食、体操、交流）

体操を行うことにより、身体・足腰の状態に関心を持つとともに、継続することの大切さを実感していた。普段の生活では家族や近隣とのコミュニケーションが不足しがちであったが、他の高齢者との交流により、話したり笑ったりする機会が増え、毎回楽しみに参加した。

令和 5 年度は計 33 回の実施。2 名が登録・参加している。

③ 認知症カフェ（アップルカフェ）

米崎町が認知症で OK！というまちになるようにとのコンセプトのもと開催。認知症の方、ご家族、知人、認知症のことが気になる人、専門職などどなたでも気軽に集まりひと時を過ごす場としている。陸前高田市地域包括支援センター、認知症と家族の会岩手支部等地域の専門職の方々と連携し、ミニ講話（10 分～20 分程度）や参加者との交流を図っている。

令和 5 年度は 10 回開催。参加者数は 159 名。

④ お出かけ広場 きらりんきっず

市内の子育て支援団体（NPO 法人きらりんきっず）との協働で、月に1度朝日のあたる家での親子の広場を開催。子育て中の家庭と地域をつなぐ場として、ワークショップなどの多世代交流も実施した。

令和5年度は計12回（うち地域交流10回）。参加者数は40名。

⑤ ほっとカフェ

障がいのある人もない人も気軽に集まり語らう場として、市内の相談支援事業所と協働で開催。就労継続支援B型施設を利用している当事者が中心となって参加者にコーヒーをふるまったり、有志によるミニコンサートなども行った。

令和5年度は計3回開催。参加者数は87名。

	陸前高田市 通所型サービスB事業		アップルカフェ (認知症カフェ)		お出かけ広場 きらりんきっず		ほっとカフェ	
	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
4月			14	1	2	1		
5月			15	1	2	1		
6月	2	2	16	1	5	1	15	1
7月	3	3	12	1	3	1		
8月	3	2	9	1	0	1		
9月	9	5			2	1		
10月	7	4	18	1	6	1		
11月	8	4	18	1	0	1	35	1
12月	4	3	23	1	4	1		
1月	3	3			9	1		
2月	4	4	16	1	3	1	37	1
3月	3	3	18	1	4	1		
合計	46人	33回	159人	10回	40人	12回	87人	3回

<SDGsの連携推進に関する事業>

- ① 野菜や果実の選別により廃棄処分になるものと地域の飲食店等との連携をコーディネート。
また、朝日のあたる家の利用者や地域の方々へ消費を促すことで廃棄量を減らし、地域のSDGsへの関心を創り出した。
- ② 休眠預金活用事業での農福連携を推進させるため購入した粉碎機を活用し、椿茶一次加工後の枝、りんご剪定枝、圃場開拓の際に切り出した竹などをチップ状に粉碎し、有機肥料にし

て畑に戻す取り組みを実施。圃場や放棄地の土壌改良などにも有効的で農地拡大や生産向上にもつながる取り組みとなっており、粉碎作業を福祉への仕事にもつなげることで新たな社会参加の場も創り出している。

3 理事会・評議員会等

(1) 令和5年度 理事会・評議員会 開催経過

開催日及び開催場所（方法）	出席者数	議題
令和5年度第1回理事会 令和5年5月26日決議 （オンライン会議）	理事総数5名 定足数3名 理事出席5名 監事出席1名	【承認事項】 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告及び決算の承認 令和5年度第1回評議員会（定時）招集の承認 休眠預金活用事業における予算計画と専門家委託の承認 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> 代表理事の職務執行状況の報告について 復興庁令和5年度ハンズオン支援事業（専門家派遣）」と「陸前高田市地域おこし協力隊インターン受入れ事業者募集」の事業内容と応募に関しての現況報告
令和5年度第1回評議員会 令和5年6月21日決議 （オンライン会議）	評議員総数6名 定足数4名 評議員出席5名 理事出席3名	【承認事項】 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告及び決算の承認 辞任に伴う評議員選任案の承認 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> 休眠預金活用事業「過疎地域における若手就農者チームによる農福連携基盤構築事業」 復興庁令和5年度ハンズオン支援事業（専門家派遣）」 「陸前高田市地域おこし協力隊インターン受入れ事業者募集」の説明と経過報告
令和5年度第2回理事会 令和5年9月29日決議 （オンライン会議）	理事総数5名 定足数3名 理事出席5名 監事出席1名	【承認事項】 <ul style="list-style-type: none"> 規則・規程（案）の承認 令和5年度第2回評議員会（臨時）の決議省略による開催の承認
令和5年度第2回評議員会 （決議の省略による） 決議があったものとみなされた日 令和5年10月19日	評議員総数6名 評議員同意6名	【承認事項】 <ul style="list-style-type: none"> 役員等報酬規程（案）の承認

令和5年度第3回理事会 (決議の省略による) 決議があったものとみなされた日 令和5年5月11月8日	理事総数5名 理事同意5名 監事確認1名	【承認事項】 ・謝金規程(案)の承認
令和5年度第4回理事会 令和5年12月21日 (オンライン会議)	理事総数5名 定足数3名 理事出席4名 監事出席1名	【承認事項】 ・NPO法人福祉フォーラム・東北からの財産寄付受入れの承認 ・令和5年度補正予算(案)の承認 【報告事項】 ・令和5年度中間監査報告(事業・会計) ・寄附の受入れと決済の方法について ・代表理事の職務執行状況の報告
令和5年度第5回理事会 (決議の省略による) 決議があったものとみなされた日 令和6年2月22日	理事総数5名 理事同意5名 監事確認1名	【承認事項】 ・維持会員規則(案)の承認 ・寄付金等取扱規則(改定案)の承認
令和5年度第6回理事会 令和6年3月29日 (オンライン会議)	理事総数5名 定足数3名 理事出席5名 監事出席1名	【承認事項】 ・令和6年度事業計画(案)の承認 ・令和6年度収支予算(案)の承認 【報告事項】 ・代表理事の職務執行状況の報告 ・職員採用について ・令和6年度第1回理事会開催時期について

(2) 監査に関する事項

実施日及び実施場所(方法)	出席者	内容
令和4年度(事業・会計)監査 令和5年5月18日 (オンライン監査)	監事 板倉幸子 理事 野崎貴士 理事・事務局 白井薫子 白子会計事務所 白子和幸 白子会計事務所 山本貴子	・令和4年度の事業の進捗・成果について報告 ・令和4年度の決算報告 ・上記報告についての監事との質疑応答等
令和5年度前期 (事業・会計)監査 令和5年11月10日 (オンライン監査)	監事 板倉幸子 理事 野崎貴士 理事・事務局 白井薫子 白子会計事務所 白子和幸 白子会計事務所 山本貴子	・令和5年度4月～9月の事業の進捗・成果についての報告 ・令和5年度4月～9月の会計報告 ・上記報告についての監事との質疑応答等

(3) 事業会議（理事・財団事業担当者）の実施

現場側の動きの共有、協議、今後の財団運営、公益認定申請に向けての意見交換等を行う事業会議を実施。

参加者は、理事 5 名、鈴木事務局次長、（一社）トナリノ佐々木信秋氏（財務戦略委託）。

開催日	内容
令和 5 年 4 月 10 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告
令和 5 年 6 月 16 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告 ・役員等の組織上の位置づけと役割について①
令和 5 年 7 月 28 日	・事業の進捗報告 ・寄附戦略概略（復興庁地域づくりハンズオン支援事業）について ・役員等の組織上の位置づけと役割について② ・理事会・事業会議年間スケジュール確認・
令和 5 年 8 月 24 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告 ・企業版ふるさと納税の活用について ・陸前高田市との締結について ・農水省 RMO 形成支援の活用について
令和 5 年 9 月 29 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告 ・ホームページ開設の進捗報告 ・「評価」について理念の定義、指標 ・農村 RMO 形成支援活用について
令和 5 年 11 月 24 日	・事業進捗報告 ・専門家定期報告 ・児童支援における地域での動きについて
令和 6 年 1 月 16 日	・「寄附」受付の開始について (単発寄附、継続寄附、維持会員規則、管理フロー)
令和 6 年 2 月 27 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告 ・助成金等調達の進捗について ・財源構成について（来年度、再来年度の調達、長期計画について）

4 施行規程類

- ①就業規則（令和5年9月29日制定）
- ②契約職員等就業規則（令和5年9月29日制定）
- ③賃金規程（令和5年9月29日制定）
- ④育児・介護休業等規則（令和5年9月29日制定）
- ⑤役員等報酬規程（令和5年9月29日制定）
- ⑥寄附金等取扱規則（令和5年9月29日制定・令和6年2月22日改定）
- ⑦出張規程（令和5年9月29日制定）
- ⑧謝金規程（令和5年11月8日制定）
- ⑨維持会員規則（令和6年2月22日制定）

5 寄附について

寄附の種類や管理フローを整備し、令和6年1月16日の事業会議において協議、合意、3月に本格的運用を開始した。

- ・寄附については、「単発寄附」と「維持会員による継続寄附」とする。
- ・維持会員からの寄附については、維持会員規則（令和6年2月22日制定）に則り運用する。
- ・事業報告書、パンフレット、ホームページ等を活用して寄附を募る。
- ・寄附の決済に関しては、銀行振り込みのみで対応する。
- ・管理の状況は、現場定例会議や事業会議で報告していく。

令和5年度寄付者 2件

- ① <寄附者> 特定非営利活動法人 福祉フォーラム・東北
- <寄附日> 令和5年5月31日
- <寄附財産> (1) 不動産 所在陸 前高田市米崎町字松峰48番地5
家屋番号 48番地5
種類 集会所
構造 木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建
床面積 232.66㎡
- (2) 上記不動産の付属設備一式
- (3) 上記不動産に存在する備品一式
- (4) 現金 971,239円
- (5) 車両 ①車両番号 岩手580 ほ 2534
車名 ニッサン（ルークス）
型式・年式 DBA-ML・平成25年
車体番号 ML21S-165241
- ②車両番号 岩手301 ち 6714
車名 トヨタ（ハイエース）

型式・年式 CBA - TRH219W・平成 30 年

車体番号 TRH219 - 0028189

(6) 賃貸人川上功との間で締結された下記不動産に関する賃貸契約に基づく
敷金債権 388,800 円

記

所在地 陸前高田市米崎町字松峰 48-1 (賃貸面積 2,139 m²)

- ② <寄附者> 株式会社バンザイファクトリー (大船渡市)
<寄附日> 令和 5 年 12 月 25 日
<寄附金額> 90,000 円
<指定寄附> 椿葉採取・一次加工

6 助成金申請

令和 5 年度は、前年度末に申請～採択となった休眠預金活用事業「過疎地域における若手就農者チームによる農福連携基盤構築事業」の開始をはじめ、他 3 件の助成金、支援事業に申請をした。

	申請	結果	事業年度	助成金等
1	休眠預金活用事業 【資金分配団体事業】 「九州のスター的な農家による農福連携事業」 【みらい創造財団】 「 <u>過疎地域における若手就農者チームによる農福連携基盤構築事業</u> 」	採択 (令和 4 年 度に申請 ～採択)	令和 5 年度 ～ 令和 7 年度	¥14,221,441 (総事業費) ¥17,686,801
2	復興庁「令和 5 年度地域づくりハンズオン支援事業」 「 <u>被災地の未来を創造するためのファンドレイジング基盤の構築プロジェクト</u> 」	採択	令和 5 年度	専門家派遣
3	丸紅基金福祉助成金	不採択		
4	休眠預金活用事業 【資金分配団体】 「農福連携による共生社会創造事業～農業を器とした就労困難者の出番と居場所づくり～」 【みらい創造財団】 「 <u>過疎地域における地域一体となった農福連携推進と機運醸成～岩手県気仙地区における農福連携を通じた多世代参加型働き方支援～</u> 」	不採択		

7 地域おこし協力隊インターン受け入れ

陸前高田市地域おこし協力隊インターン受入れ事業へ応募し、採択となった。令和5年度は2週間のショートインターンとして2名の受け入れを行った。

氏名	期間	活動内容
劉辛夷さん	11月6日(月)～17日(金)	椿葉採取 農福連携支援 ゆず採取、選別 タカタアグリ農家見学 みんなでごはん参加(介護美容) 活動報告会
リーパー・カイ・アリさん	12月4日(月)～15日(金)	椿葉採取 農福連携支援 ゆず採取、選別 りんご収穫、梱包 米粉製菓体験 資源活用 みんなでごはん参加(ミニコンサート) 活動報告会